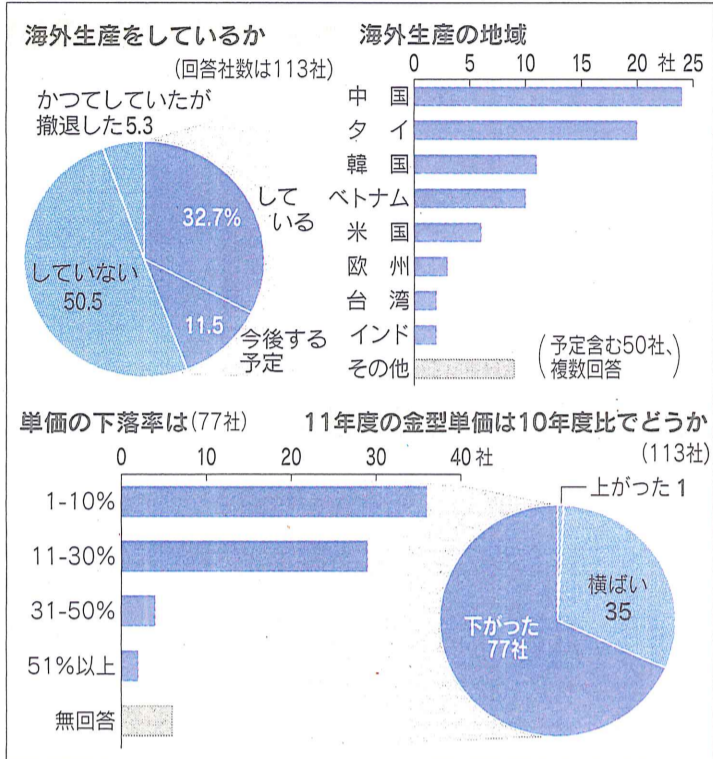


## 第10回金型調査



## 海外生産は4割超へ

日本経済新聞社が実施した第10回「金型調査」(回答企業数113社)では海外生産への積極姿勢が目立った。「海外生産をしている」との回答が32.7%。「今後する予定」も含めると44.2%となり、東日本大地震で掲載を見送った前回調査と比べて15%近く増えた。「海外で受注活動をしている(予定も含む)」と回答した企業も52.7%と、初めて半数を超えた。成長性の高い新興国などでの事業拡大が狙いだ。

調査では業界を取り巻く収益環境が一段と厳しくなっている。2011年度も受注量が増える見通しと回答した企業は半分近いが、金型の単価については7割の企業が「下がった」としている。顧客企業からの値下げ要請にいかに対応していくのかも大きな課題になっている。



伊藤製作所のフィリピン工場

## 苦境を力に、強み生かす

「フィリピンの若い従業員の方が上手だな」。同社の伊藤達夫社長が冗談交じりで発した言葉で、日本の現場に火が付き、9年前に始めたのが金曜日終業後に開かれる恒例の勉強会だ。内容は生産改善から、新しい加工技術にまで及ぶ。精密なプレス金型の技術を生かし、最近も自動車部品メーカーから特殊な成型品の受注に成功した。

同社の日本の売上高見通しは11年度で25億7千万円。フィリピン進出前の95年度と比べて7割増え、過去最高を更新しそう。伊藤社長は「海外に出ることで日本の現場が強くなった。フィリピンがなければ、規模は縮小していたはず」と振り返る。

金型業界向けに工作機械を長く販売してきた牧野フライス製作所の牧野二郎社長は「日本の金型メーカーは国際競争に対応する態勢が整いつつあるのではないかと指摘する。最近、業界の経営

日本の製造業を支えてきた金型業界が攻めに打って出ている。2008年秋のリーマン・ショック後は大手企業が経営破綻するなど業界は苦境に陥ったが、国内顧客の急速なグローバル化に対応し、海外での事業拡大に乗り出す。日本経済新聞社が28日にまとめた第10回「金型業界に関するアンケート」(金型調査)でも海外生産に動く企業(計画を含む)の比率は前回調査より約15%上昇し44%に達した。日本の金型企業は世界で勝ち残れるのか。現場から報告する。(調査の詳細を17面に)

## マザーインダストリーの挑戦

「国内の自動車部品メーカーと取引に向けて交渉が始まった。今後の事業拡大を期待できる」。同組合に加盟する三幸(富山県高岡市)の窪田彰克社長は笑顔を見せる。組合企業の中には従業員数が10〜30人前後で、リーマン後は売上高も激減。単独進出は「夢のまた夢」だった。

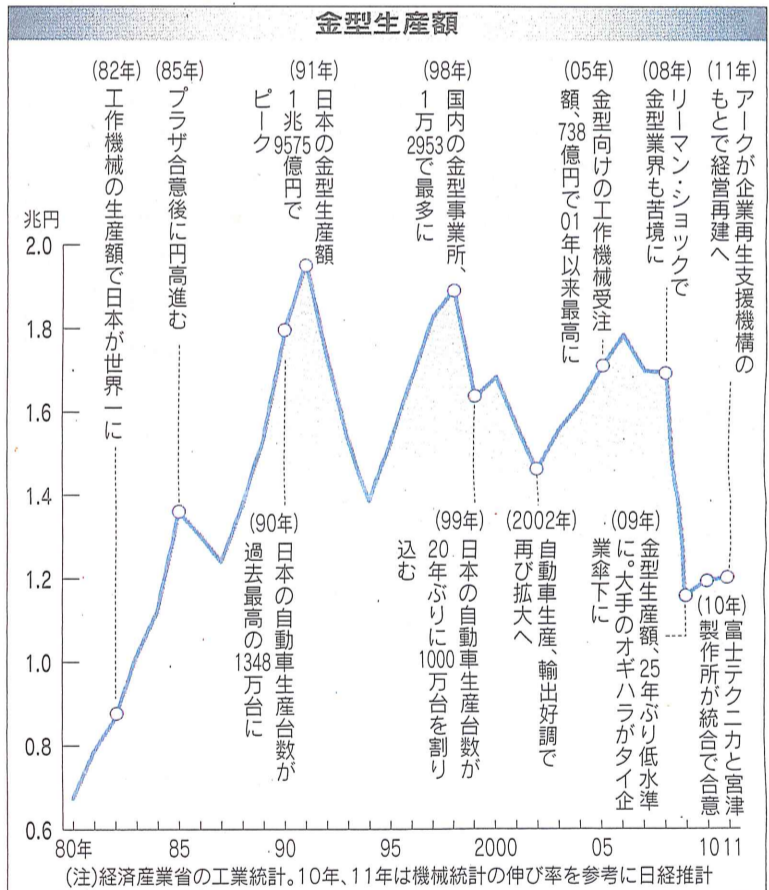
新工場は組合が1億5千万円を投じて建設し

# 金型18社結集、海渡る

## 富山県の協同組合

「日本の金型企業から学ぶことはない」。現地で合同商談会の前、こんな声も出ていた。だが、プラスチック金型を手がける狭山金型製作所(埼玉県入間市)の大場治社長には18社が面会を希望。2社は開発中の製品の図面を見せ「すぐに見積もりがほしい」と申し入れた。「超精密な金型では十分に強みがあること確信した」(大場社長)。世界に飛び出したから、自らの技術力の高さを改めて認識できた。

「フィリピンの若い従業員の方が上手だな」。同社の伊藤達夫社長が冗談交じりで発した言葉で、日本の現場に火が付き、9年前に始めたのが金曜日終業後に開かれる恒例の勉強会だ。内容は生産改善から、新しい加工技術にまで及ぶ。精密なプレス金型の技術を生かし、最近も自動車部品メーカーから特殊な成型品の受注に成功した。



「は自動車の車体パネルなど高付加価値品に強みを持つ。ただ、韓国や中国の有力企業も技術力を高め、今ではほぼ互角とされる。日本企業も海外で需要を取り込み、対抗するしかない」。

参考になるのが海外市場の開拓で先行した伊藤製作所(三重県四日市市)。同社は96年にフィリピンに合弁工場を設けた。03年の完全子会社化後はそれまで取引のなかった日系の自動車部品メーカーなどを現地スタッフが次々に開拓、技術力も高めた。それが刺激となり、国内の現場も改革に取り組んできた。

### 日経電子版から

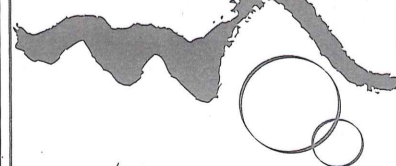
#### 国際見本市に見る日本の実力

スマートフォン(高機能携帯電話)など家電やIT(情報技術)の分野で中国系企業の脅威が高まっている。海外では以前から躍進が目立ったが、そのベンチマークとなるのが世界の家電IT見本市だ。勢いを増すアジア勢と存在感を失う日本勢。その姿を海外の主要な展示会場に追った。

電子版・日経産業新聞onlineに全文掲載 (http://www.nikkei.com/tech/ssbiz/)

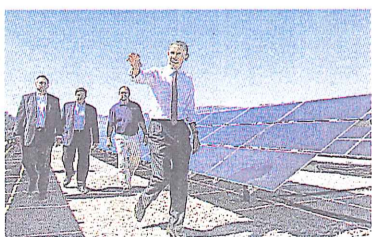
日経電子版 http://www.nikkei.com/ お問い合わせ(7:00~21:00) ☎0120-24-2146

蒸気を通して、自然と人の暮らしを大切にします。



株式会社 ミヤワキ http://japan.miyawaki.net

### 24 ソーラー摩擦 オバマ氏高藤



ネバダ州の太陽光発電所を訪れたオバマ米大統領(21日)＝A P

X 成熟技術の販路開拓 広告、急速浸透  
i型ICタグ開発 家電、本格派の貢祿 向け薄膜、安く作製 中東産油国  
E 機械向け炭素繊維強化 グローバル時代の課長学